

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072100551		
法人名	ハートフルケア たてしな		
事業所名	グループホーム だんらん		
所在地	長野県北佐久郡立科町大字芦田3723番地		
自己評価作成日	平成23年10月13日	評価結果市町村受理日	平成24年4月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社マスネットワーク 医療福祉事業部		
所在地	長野県松本市巾上13-6		
訪問調査日	平成23年11月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・自然に恵まれた環境の下、ご家族や地域の皆様との関わりを大切にしながら、その人らしい生活を送っていただけるよう支援しています。・施設周辺には花壇や野菜畑があり、また玄関横では犬を飼い「家庭」を意識した施設作りを心掛けています。・居室は全室個室で畳を使用しており、馴染みのある家具や小物を配し、清潔で落ち着いた空間を作り出しています。・季節の催し物や地域の行事に積極的に参加し、また同じ事業所内の特養やデイサービスの皆さんとも交流を図りながら、社会との関係を大切にしています。・催し物や行事等に参加したときの写真を掲示することにより、楽しかった思い出を大切にしています。・利用者の方全員が、毎日生き生きとした表情で過ごしていただけるよう、コミュニケーションやスキンシップを欠かさない支援に力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然に恵まれた環境のもと、近隣には保育園、小学校、中学校、高校やデイサービス、老人福祉施設、運動公園、温泉施設があり、家族や地域とつながりを持ちながら生活を送っている。施設の周りには、花壇や畑があり、野菜を作り収穫をし、食卓を賑やかにしている。居室は畳の部屋にペットを置き、こたつや馴染みの家具が置かれ、掃除も毎日出来るよう等とちりとりを用意し、居心地良く依然と変わらない生活空間となっている。サニールームには、ソファが置かれ、冬場になると日向ぼっこに集まり、外の景色を見たり、おしゃべりしたり、のんびりとのどかな時をすごせる様支援している。食堂の談話室、台所、広い廊下はワンフロアになっており、運動をしたり地域の人の交流の場所になったり、多目的に利用され、各部屋も一目で見渡せるようになっている。冬にはベレットストーブが置かれ、心も身体も暖かくなるような生活空間である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名()							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流を深めることを理念にうたっており、毎朝の申し送り時には職員間で理念を唱和し実践につなげようとしている。 ・理念に基づいたサービスの提供に心がけるよう、ミーティングや申し送り時に職員間で確認しあっている。 	<p>家庭的な環境のもと、心おだやかにやすらぎのある生活がおくれるように、地域との交流も深めることを理念にうたっており、玄関、事務室、トイレ等の目につく所に掲示し、いつでも見れ、更にミーティング等で確認しあいながら、理念に基づいたサービス提供が出来る様心がけている。</p>	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティアを積極的に受け入れている。 ・事業所の行事に参加していただいたり、散歩や買い物のときに声を掛け合ったりしている。 ・児童館の小学生が定期的に訪問してくれたり、町主催の敬老会や文化展等に参加し交流を図っている。 ・町の広報や有線放送等で地域の情報を得ている。 	<p>地域の方がボランティアで音楽療法、お話し、おやつ作りを一緒にした後のお茶会などを行っている。児童館の小学生は定期的に訪れ、運動やお話して交流をしている。その他、町の文化展への出品と見学、敬老会、どんど焼へ参加や、有線放送、回覧により、行事を把握して参加するなど、日常的に地域の人々と交流を図ることに努めている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所においてヘルパー2級の養成講座を開催している。しかし今年度は応募者が少なく中止となった。 ・ふれあい講座を通じて事業所の紹介を行い理解を深めていただいている。 ・人材育成の貢献として実習生の受入を積極的に行っている。 ・地域の小中学生の訪問も受け入れている。 	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回開催し現状を報告し、それぞれの意見を聞いている。 ・会議で取り上げられた検討事項や懸案事項について、職場会議で報告・検討し、サービスの向上に活かしている。 	<p>家族、利用者、近所の代表も加わり、2ヶ月に一度運営推進会議が開かれ、事業所の報告と質問、意見、要望を受け、話し合いがされている。会議で取り上げられた事は職場会議で報告し、サービス向上のための話し合いがされている。</p>	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・行政法人なので町との連絡は密に行っている。 	<p>行政法人であるので連携は充分取れており、事業所の実情も良く理解してもらっている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を行うなど事業所全体で取り組んでいる。 ・正面玄関の施錠は行いませんが、防犯上敷地境界でのセンサーを設置している。 	内部、外部の研修により、理解を深め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関も施錠せず、敷地境界にセンサーを設置している。事業所前の坂道、近くに池があるためセンサー音で利用者の確認をし、リスクの軽減に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を行うなど事業所全体で取り組んでいる。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を行うなど事業所全体で取り組んでいる。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・契約前にホームの様子を見て確認していただいた後、文書と口頭にて丁寧に説明している。 ・不安や疑問点のある場合は、その都度十分な説明を行っている。 ・契約解除に至る場合は、理由を明確に説明し納得していただいている。 		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の言葉や態度からその思いを察する努力をし、利用者本位の運営を心がけている。 ・面会時の会話の中から、家族の意見や要望を収集して運営に反映させている。 ・家族会等で常に問いかけ、何でも言いやすい雰囲気作りに留意している。 ・玄関に意見箱を設置している。 ・第三者委員会を設置し、その役割を周知している。 	利用者の言葉や態度から思いを察する心がけと、家族等は面会や会議の際に思いや要望を遠慮なく言ってもらい、運営に反映させるよう努めている。意見箱の設置や第三者委員会の設置により、いつでも利用者の家族等が自由に意見を言える機会を作っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内に運営委員会を設置しており、職員の意見や提案を聞いている。 ・職場会議では職員1人ひとりから意見を聞き、運営に反映させている。 	職場会議で職員一人ひとりからの意見を聞いたり、日常の業務の中でも自由に意見や提案を出せる人間関係が築かれている。更に、事業所全体の運営委員会でも職員の意見等を聞いており、運営に反映するよう努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・正職については人事評価を導入しており、また臨職は自己評価を行うことにより目標を持って働けるよう努めている。 ・産業医による個別面談を通じ、健康面等相談することが出来る。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・さまざまな研修会や学習会等には積極的に参加している。また、それらの研修報告は毎月の職員会議や職場会議で報告し、資料はいつでも閲覧できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・広域や連絡協議会等で交流を持ち、勉強会や相互訪問等に取り組んでいる。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入所前には必ず本人と会い、心身の状態や思いに向き合い、安心して入所していただけるよう配慮している。 ・職員が本人に受け入れられるよう信頼関係作りを努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・本人とは別に話を聞く機会を設け、家族の求めているものを理解することにより信頼関係が築けるよう努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人にとって必要な支援を最優先し、担当のケアマネジャーとも連携を図り、他のサービス利用も考え柔軟に対応できるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・本人の出来ることを把握し一緒に行ったり、生活の知恵を教わったりしながら、馴染みの関係作りに留意している。 ・昔ながらの地域の行事等を聞きながら、一緒に行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・面会時や必要に応じて電話等で本人の様子や職員の思いをきめ細かく伝え、本人を支えていくための協力関係が築けている。 ・毎月事業所で発行している新聞に記事を載せ、日頃の様子を知らせている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・家族や友人等の面会の際には、居室にてゆっくり過ごしていただけるよう配慮している。 ・本人の希望に添って「ふるさと訪問」を計画し、家族や友人等にも協力いただいている。	近くにある同一法人のデイサービス、老人福祉施設の行事に参加し、そこを利用している馴染みの人と関わりが持てるようにしている。年1回の「ふるさと訪問」では、利用者毎の行きたい所、したい事の要望に応え、実家、お墓参り、動物園、美容院など、一対一で外出、状況によっては、家族や友人の協力も得ており、これまでの暮らしや地域との関わりを大切にしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・利用者同士の関係性について把握し、食事の席等配慮し楽しく生活できるよう配慮している。 ・利用者同士共有の時間を作り、職員が調整役となり穏やかに生活できるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・事業者間で情報を交換したり、本人・家族からの相談にのったりしている。 ・いつでも立ち寄りいただける雰囲気作りをしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・日々の関わりの中で声を掛け、本人の希望等把握できるよう努めている。 ・困難な場合は、家族等より情報をいただき、職場会議等で話し合っている。	担当制により、担当者の日々の関わりの中、思いや意向をしっかり把握するよう努め、困難な場合は家族からの情報を含め職場会議で話し合っている。更に、利用者の思い、趣味、得意とする事などを把握しやすくする為、センター方式の一部を取り入れ試みている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前に自宅に訪問したり、本人・家族からの情報を得ながらこれまでの暮らし方を把握している。 ・利用後も折に触れ、本人・家族からこれまでの生活について聞いている。 ・担当ケアマネジャーや他事業所からも情報を得ている。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝健康状態をチェックをし、申し送り等で現状の把握に努めている。 ・個々の生活リズムを大切に、有する能力を発揮できるよう心がけている。 		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・本人・家族や主治医からの意向や要望を確認し介護計画を作成している。 ・アセスメントを含め職員全員で意見交換し、介護計画に反映させている。 ・モニタリングやカンファレンスを定期的に行っている。 ・心身状態の変化時は、その都度内容の見直しを行っている。 	利用者や家族の意向や要望を把握し、職員全体で意見を出し合って、計画担当者が介護計画を作成している。月一回、モニタリングが会議の中で行われ、担当者中心に全員で話し合っており、心身の状態の変化の時には、その都度見直しも行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に気付いたことは個別ケース記録に記入し、常に目を通して情報を共有している。 ・申し送りノートを活用している。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・本人・家族の状況により、通院・家族等の支援は柔軟に行っている。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加したり、ボランティア等の受入を積極的に行っている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・本人・家族の希望するかかりつけ医に定期的に往診または受診している。 ・必要により家族の付き添いにより受診している。 ・緊急時または家族の状況により、職員も付き添い状態を伝えるようにしている。 	利用者、家族の希望するかかりつけ医に通院又は往診を受けている。通院は家族同行であるが、不可能な時、緊急時には、職員が同行し家族に状態を伝えるようにしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・同事業所内の看護職員に相談・助言を受けたり、かかりつけ医の看護師とも気軽に相談できる関係が出来ている。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族とともに入院先の医療機関と話し合いの機会を持ち、回復状況等把握しながら早期に退院できるよう最善を尽くしている。 ・定期的に日赤との交流会を行っている。 		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時や家族会等で説明している。 ・家族とその都度話し合いの機会を設け、また主治医とも相談しながら支援していく。 	重度化や終末期の対応は、基本的には行わず、他の事業所へ移行する方向で契約時家族会等で説明し理解を得ている。家族とその都度話し合いが持たれ、移行へのバックアップ体制もあるため家族の不安を取り除いている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所全体で救急法や吸引器の使用方法等の研修を行い、いざという時のために備えている。 		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回防災訓練を行っており、消防署・消防団や地域の皆さんにも参加していただき協力を得ている。 ・災害対策マニュアルを作成しており、それに添って行動出来るよう日頃から話し合っている。 ・火災通報装置・スプリンクラーを設置している。 	マニュアルを作成し、理解、行動が出来るように日頃から話し合いがなされている。自動通報装置、スプリンクラーの設置と地域住民、消防署の協力を得て、防災訓練を年2回(1回は夜間想定)実施している。	どのような災害が発生しても対応できるよう、日頃から種々の災害についての具体的な想定をし、訓練することを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーに配慮し、さりげない対応を心がけている。 ・研修会等に参加し、意識向上を図っている。 	<p>研修会に出席し、意識の向上をはかると共に、利用者一人ひとりを尊重し、慣れあいにならない様に心掛けている。日常生活の中で利用者の誇りや尊厳を損なうような行動は職員同士注意しあっている。</p>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に合わせた声掛けを行い、押し付けではなく些細なことでも本人が決める場面を作っている。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・1人ひとりの気持ちを大切に、出来るだけ個別性のある支援を行っている。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・行きつけの美容院に行ったり出張してもらい、希望に添ったスタイルにしている。 ・衣替えは本人とともに、季節に合った衣類を着てもらう。 ・特に外出時は一緒に洋服を選び、おしゃれをして出かけている。 ・各居室には洗面台があり、本人愛用の化粧品等用意している。 		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶入れ・食事の下ごしらえ・片付け等声掛けしながら出来る範囲でお願いしている。 ・旬を大切に、行事食や食器等にも工夫を凝らしている。 ・職員も同じテーブルで楽しく食事できるよう雰囲気作りを大切にしている。 	<p>利用者は出来る範囲で調理の下準備、配膳、食卓の準備、片付けなど職員と一緒にしている。旬を大切に行事食や野菜の漬け込み等季節感を感じながら食を楽しんでいる。</p>	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・1人ひとりの嗜好物を把握しており、味付けや盛り付け等工夫している。 ・食事の摂取量を毎食記録している。 ・水分不足に十分留意し、特に起床時のお茶と入浴後の水分摂取は欠かさない。 ・毎月特養の管理栄養士に献立を見てもらい、アドバイスをもらっている。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後歯磨きや義歯の洗浄など、個々の状態に合わせ支援している。 ・定期的に歯科医の往診を受け指導していただいている。 ・就寝時は義歯洗浄剤に漬けている。 		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の排泄の様子を記録し、個々の排泄のサイクルを把握しながら、トイレでの排泄を促している。 ・時間誘導や本人の行動の様子で、トイレ誘導・声がけを行っている。 	トイレでの排泄を基本として、個々の排泄パターンを把握し、利用者に合わせた声がけやトイレ誘導をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・水分や食物繊維の多い食材を意識して摂取したり、体操や歩行練習等行い適度な運動を心掛けている。 ・排便表を元に漢方茶を飲んだり、医師や家族と相談し服薬等の対策を取っている。 		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴日は一応決めてあるが、拒否や失禁等あればその都度対応している。 	利用者の希望にあわせた週間の入浴表であるが、拒否や希望、失禁等その都度対応しており、一人週2～3回は入浴している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている。 ・それぞれの落ち着いた場所で、安心して過ごせるよう支援している。 ・寝具類は季節に合った物を用意し、常に清潔であるよう心掛けている。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・処方されるたびに用法や用量を確認し、薬の説明書に職員全員が目を通している。 ・服薬時には職員が個々に手渡し、必ず服薬を確認している。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの得意分野で力を発揮していただけるよう仕事を頼み、感謝の気持ちを伝えるようにしている。 例えば畑や花壇での作業や家事等職員と共に行い、張り合いを持って生活できるよう支援している。 		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 天気の良い日には戸外に出掛け、季節感を味わっていただいている。 定期的に全員で遠出し外食を楽しんだりしている。 家族と協力し、個々に外出支援を行っている。 	事業所周辺の散策の他、月に1~2回は外食を兼ねて遠出して花見、紅葉狩、温泉等に行っている。外食の店は利用者の希望に添うようにしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> お小遣いとして家族より預かり、職員が管理している。 外出時等本人より希望があれば少額渡し、買い物を楽しんでいただいている。 		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 電話を掛ける等本人の希望には応じたり、年賀状や暑中見舞い等書いて近況を知らせたりしている。 家族等からの電話も取り次ぎ、ゆっくり話していただける様配慮している。 		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> 毎日掃除をし、清潔な環境で過ごせるよう心掛けている。 ホールにはペレットストーブが設置しており、柔らかな温かみのある空間になっている。 日中は畳スペースにほとんどの皆さんが集まり、テレビを見たり会話を楽しんでいる。 冬場はサンルームでゆっくりと日向ぼっこができるようソファを置いている。 花を飾ったり、雛人形やクリスマスツリー等で季節感を出すよう工夫している。 	ワンフロアの中に食堂台所談話コーナーがあり、廊下部分も広くゆったりとして居心地よく過ごすことができる共同空間となっている。談話コーナーは畳敷きになっており、冬はホットカーペットを使用し、足もとが寒くない工夫がされ、ここに集まり、テレビ、体操、会話などを楽しんでいる。壁には利用者の書、文化祭出品、作品、行事の写真や年毎の新年の集合写真が貼られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> 食堂の椅子や周りのソファに座り、自由に過ごせるよう工夫している。 		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・本人や家族の意向で、慣れ親しんだ小物や寝具またテレビやこたつを持ち込んだり。行事や家族と撮った写真を飾り、温かみのある居室づくりを心掛けている。	居室は、利用者家族の意向でテレビ、こたつ等が置かれ壁には家族写真や絵が飾られ、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・廊下やトイレ・浴室等には手すりを設置し、安全に行動できるよう配慮している。 ・居室には表札を付け、またトイレを大きく表示したりして混乱しないよう配慮している。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握や家族の願いをどのように把握し、サービスに反映させていくか。	一人ひとりの「今」の思いや願いを理解し、生き活きと安心した生活を送ることが出来る。	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者を中心に日々の関わりの中で、本人に思いや意向をしっかりと把握するように努める。 ・今まで以上に家族から情報を得られるよう、関係作りを大切にしていく。 ・センター方式を活用し、「今」の思いや願い、状態を把握する。 	6ヶ月
2	35	どのような災害が発生しても対応できるよう、備えを十分に出来ているか。	どのような災害が発生しても、マニュアルに添って対応できるように備える。	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような災害が発生しても対応できるようマニュアルを見直す。 ・マニュアルに添って落ち着いて行動出来るよう日々イメージトレーニングを行う。 ・職場会議の中で話し合いの機会を持ち、不安のないよう意識を高める。 	3ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
目標達成計画